

# 林業ミニ情報 No.129

平成27年5月

- 1 水戸市森林公園で植樹祭が開催される ..... 1  
(水戸林業指導所 清水)
  - 2 「カスミ共感創造の森」第5回植樹祭が開催される ..... 1  
(笠間林業指導所 石井)
  - 3 原木しいたけ・たけのこの出荷制限等の解除について ..... 2  
(土浦林業指導所 加藤)
  - 4 菌床しいたけ等のGAP認証を活かした販売戦略について ..... 4  
(筑西林業指導所 千葉)
- 〔林産情報〕 素材・製材品価格及び新設住宅建設の動向 ..... 6  
(林業技術センター 益子)

## 1. 水戸市森林公園で植樹祭が開催される

去る3月7日（土）、水戸市木葉下町の水戸市森林公園内において、「市民参加の森林づくり」として水戸市の主催による植樹祭が開催され、一般の親子連れの方々や森林ボランティアを含め、総勢62名が参加しました。

植栽地は森林公園のほぼ中心に位置するアカマツ林内で、抵抗性アカマツ100本、ヤマザクラ70本、クヌギ30本、ヤシヤブシ50本、イロハモミジ100本、エノキ50本の計400本を植栽しました。この植樹祭は、今回で8回目となります。

当日は、開始直前まで雨が降っていましたが、開始時には雨も上がり曇り空となりました。

開催にあたり、始めに水戸市長から挨拶があり、続いて水戸林業指導所の林業普及指導員が森林の役割や森林の働きについて、及び当植樹祭には森林湖沼環境税が活用されていることを説明しました。植栽に当たっては、森林公園管理事務所の職員と普及指導員が各樹木の特徴について説明した後、植え付けの注意点等の指導を行いました。

植栽は、目印のある箇所各自が数本ずつ行いましたが、手慣れた参加者もいたことから作業もスムーズに進み、約1時間半程度で終了しました。作業終了後は、参加者各自に豚汁が振る舞われ、最後まで和気あいあいとしたムードのなかで閉会となりました。

水戸市森林公園では、7月に今回の植栽地の下刈り体験、11月に間伐体験や広葉樹林の育成体験、来年の3月には植樹祭を開催する予定であり、当林業指導所もこれらの活動を積極的に支援して行くこととしています。

（水戸林業指導所 清水）



林業普及指導員による植栽指導



植栽の様子



参加者一同

## 2. 「カスミ共感創造の森」第5回植樹祭が開催される

去る5月9日（土）、愛宕山（笠間市上郷）において、「カスミ共感創造の森」第5回植樹祭が開催されました。

カスミ共感創造の森は、平成22年度及び平成26年度に株式会社カスミ（以下、「カスミ」という。）、森林所有者、いばらき森林づくりサポートセンターの3者により締結された「いばらき協働の森パートナーズ協定」に基づき、愛宕山の約4.9ヘクタールの山林で、カスミといばらき森林づくりサポートセンターが協力して植樹を実施し、その後植栽木の保育等を行う計画となっています。

当日は、カスミの小浜会長や藤田社長をはじめ、来賓の細谷県議会議長、飯塚県会議員、鈴木農林水産部長、山口笠間市長、森林所有者のほか、笠間緑の少年団や下妻ガールスカウト、一般ボランティア、カスミ社員など約500名が参加し、約0.9ヘクタールの会場にスギ、ヒノキ、コナラ、クヌギ、キハダなど10種、約2,600本の苗木を植樹しました。また、カスミの新入社員研修の一環として、男性社員によるヒノキ林の間伐・枝打ち体験も行われました。

参加者からは、「楽しかった。また参加したい。」「将来、大きく育った木を見てみたい。」などの声が聞かれました。

当林業指導所では、カスミをはじめとした企業のこのような環境保全活動に対して引き続き支援することで森林整備を推進するとともに、企業や県民の森林整備に対する意識の醸成を図っていきたいと考えています。

（笠間林業指導所 石井）



式典会場に集合した参加者



植樹の様子

### 3. 原木しいたけ・たけのこの出荷制限等の解除について

本県では、平成23年3月に発生した原発事故後、県内の広い地域できのこやたけのこ、山菜類が出荷制限等の規制を受けております。

このような中、本年4月に原木しいたけとたけのこについて、本県初の事例となる出荷制限等の解除が当指導所管内において実現しましたので、その取組等について紹介します。

#### 1. 原木しいたけ

原木しいたけについては、生産者単位での解除となりますが、今回は石岡市2名、かすみがうら市1名の生産者が、県が作成した原木きのこ栽培管理チェックシートに基づく栽培管理を行い、解除となりました。

当指導所では、以下の点について生産者に対する重点的な指導を行いました。

(1) 原木管理

- ・原木の入荷日、放射線濃度及び保管状況を確認するため、入荷伝票、放射性物質検査結果等の書類（自主検査を含む）、搬入・保管状況の写真を提出すること（写真の提出については植菌以降も各栽培管理工程で随時指導）。
- ・入荷後の原木は、地面と接触することによる追加汚染を防ぐために、型枠やブロック等の上に置き、シートで覆って保管すること。



原木を地面につけないよう管理

(2) 植菌

- ・原木産地と植菌時期が同一で、かつ同じほだ場内で保管されているものを1単位（ロット）として管理すること。（生産者によってはロット毎に色の違うテープを貼付するなどして管理を実施。）
- ・植菌作業中及び植菌後のほだ場搬入時に地面と接触することによる追加汚染に注意すること。



原木に番号をつけてロット管理

(3) 仮伏せ・本伏せ

- ・仮伏せ・本伏せ期間中についても、地面にほだ木が接触しないようブロックや防草シート等を使用すること。
- ・発生前ほだ木の放射線濃度が指標値（50Bq/kg）以下であることを確認すること。（県で検査を実施）

(4) 発生・休養

- ・ほだ木を浸水させる浸水槽の清掃を行い、発生作業中の追加汚染が生じないように注意すること。
- ・発生したきのこの放射線濃度が食品の基準値（100Bq/kg）を安定して大きく下回ることを確認するため、県の検査前に市の自主検査を行うこと。

以上のような各栽培管理工程での重点的な指導に加え、全工程を通じた低減対策として、定期的なほだ場の清掃及び清掃後の状況写真の保管等について指導しました。

## 2. たけのこ

たけのこについては、市町村単位での解除となりますが、今回は取手市、守谷市及びつくばみらい市の3市が解除となりました。

当指導所では、以下の点について市に対する指導、支援を行いました。

- ・県が把握している森林データから抽出した竹林 分布図の提供

- ・たけのこ発生期間における放射性物質検査の調整

（1市当たり標準60検体の検査の実施）

- ・解除申請に向けた資料作成の指導

（検査結果の整理、解除後の出荷管理体制）

これらの取組を行う中で、解除の実現につきましては、何よりも生産者や市職員の皆様の熱意が大切であると感じたところであります。

今後は、引き続き、出荷制限等のある市町村の解除に向けた取組を支援するとともに、解除となった市でも適切な栽培管理や放射性物質検査の実施等により、安全・安全なきのこ等が流通するよう努めてまいります。

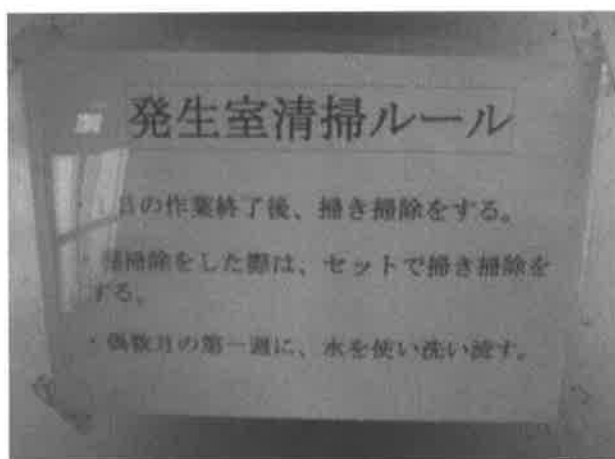
（土浦林業指導所 加藤 智一）

#### 4. 菌床しいたけ等のGAP認証を活かした販売戦略について

近年、食の安全・安心に関心が高まり、米や野菜などの農産物でGAP（一般社団法人日本生産者GAP協会）の認定を受ける生産者が増加してきています。そこで、筑西市で菌床しいたけを栽培しているO氏はGAPの認証を受け、これを活かした販売に取り組んでいるのでその概要を紹介します。

##### （1）GAPの認証

O氏がGAP認証に際し特に注意を要したことは、①菌床しいたけ栽培の各工程における注意点を掲示するすると共に、その実施した行為をその都度記録すること、②機械や施設の清掃や消毒等により、清潔に保つなどの衛生管理、③クレームへの対応を準備すること、でした。



注意点の掲示例（清掃ルール）

特に、③については、参考になる関係機関等の情報を集め、原因究明の手法や相手に分かりやすい説明をすることが重要であると考えているそうです。

##### （2）販売戦略

販売については、他のしいたけと差別化するため、小規模種菌メーカーから希少な種菌を取り寄せ、独特のうまみと食感が得られる高品質のしいたけを「まる福シイタケ」として商標登録（平成26年2月）しました。その商品は、特にお歳暮や年始用の贈答品として人気があるとの事です。

また、東京都下北沢で毎月第4日曜日に開催される青空市場に出店を行っており、高品質で安全・安心のしいたけをセールスポイントに都内消費者へのPRを行うとともに、

食品業者との契約出荷の交渉も行っています。

さらに、近隣農家2名と「自然っぱクラス」という販売グループをつくり、インターネットによる通信販売も行っているほか、生産物のロスをなくすため、石突きを佃煮にするなど、高付加価値化にも取り組んでいます。

### (3) アジアへの輸出

O氏は、世界の人たちに自分で生産したしいたけやお米を食べてもらうことを目標にしています。そのためには、グローバルGAPの認証が重要と考え、茨城貿易情報センター（ジェトロ茨城）のセミナーなどに参加し情報を収集し、準備を進めており、認証を受けたグローバルGAPを足がかりに、シンガポールやマレーシアなど、アジアへの輸出を目指しています。

しかし、海外輸送にともなう品質の低下の防止策や加工品の開発、コスト低減策などの課題も多くあるとの事です。

### (4) 新たなきのこ栽培

新たなきのことして、高温にも強く、90%以上が輸入（中国産が多い）に依存しているきくらげに注目し、平成24年から栽培をはじめました。栽培当初は、温湿度管理がうまくいかないことにより雑菌が発生し、生産量が少なかったが、菌の特性を把握するにつれ生産量が増加してきました。

きくらげは肉厚でコリコリ感が楽しめるなど、安全・安心かつ高品質であることを、対面販売や試食販売を通して、商品のPRに努めています。

当林業指導所では、このような取組の成功は地域のしいたけ生産者の目標や励みになることが期待される事から、積極的に支援していきたいと考えています。

#### GAP：日本の適正農業規範

農業生産活動を行う上で必要な関係法令等の内容に即して定められる点検項目に沿って、農業生産活動の各工程の正確な実施、記録、点検、及び評価を行うことである。その点検項目には、放射性物質への対応、施設・出荷施設・貯蔵施設の衛生管理、収穫・選別時の汚染や異物混入防止対策、出荷時の適切な表示の実施などがある。

#### グローバルGAP：ヨーロッパの適正農業規範

ドイツに本部を置き、安全で品質の良い農産物を生産することを目的に設立された非営利組織が認証（80カ国、約10万件認証）。



日本GAP規範農場評価証書



商標登録証

(筑西林業指導所 千葉)

〔林産情報〕

茨城県の素材・製材品価格(平成27年)

単位:円/m<sup>3</sup>

区分	樹種	規格	種類	H25年 平均	H26年 時点平均	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
国産材	スギ	m cm cm 3.00 × 14~20	柱材	13,900	12,000	13,400	12,700	11,800	10,000										
		3.65 × 18~28	中目材	14,200	11,700	12,900	12,700	11,800	9,200										
		4.00 × 8~13	小径材	14,900	14,300	14,600	14,800	14,400	13,200										
	ヒノキ	3.00 × 14~20	柱材	17,700	14,900	15,900	15,900	14,800	12,900										
		4.00 × 18~28	中目材	21,400	16,900	18,600	18,200	16,100	14,600										
	米ツガ	11.00 × 径・36	コースト	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000										
		11.00 × 径・28以下	j・ソート	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000										
	外材	米マツ	11.00 × 径・40	カスケード	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000									
			11.00 × 径・36	コースト	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000									
		カラマツ	4.0	込	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000									
			エゾマツ	3.8	並材	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000								
	国産材	スギ	m cm cm 3.00 × 10.5 × 10.5	柱①	55,500	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000									
4.00 × 10.5 × 10.5			柱②	50,800	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000										
3.65 × 1.4 × 10.0			ヌキ	55,900	56,000	56,000	56,000	56,000	56,000										
3.65 × 3.6 × 4.5			タルキ	52,900	53,000	53,000	53,000	53,000	53,000										
3.65 × 4.5 × 10.5			敷居・鴨居	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000										
4.00 × 9.0 × 9.0			母屋	42,200	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000										
ヒノキ		3.00 × 12.0 × 12.0	柱①	111,700	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000										
		4.00 × 12.0 × 12.0	土台	110,800	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000										
		4.00 × 4.5 × 10.5	敷居・鴨居	380,000	380,000	380,000	380,000	380,000	380,000										
マツ		4.00 × 12.0 × 24.0	平角	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000										
外材		米ツガ	3.00 × 10.5 × 10.5	柱	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000									
			4.00 × 9.0 × 9.0	母屋	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000									
	米マツ	4.00 × 12.0 × 24.0	梁	58,000	58,000	58,000	58,000	58,000	58,000										
	米ツガ	4.00 × 12.0 × 12.0	注入土台	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000										
	エゾマツ	3.80 × 3.0 × 4.0	タルキ	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000										
集成材	3.00 × 10.5 × 10.5	柱	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000											

注) ヒノキ柱①は、平成11年以前10.5cm角  
 WW(初付ワグ)集成材は、1本あたりの単価をm<sup>3</sup>に換算  
 カスケード: 大膽中央部カスケード山脈から産出される目詰みの材  
 コースト: 太平洋沿岸部コースト山脈から産出される目詰みの材  
 J・ソート: 北米における末口径11インチ下の細丸太、または日本向け丸太

茨城県の新設住宅建設の動向

単位:戸

区分/月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	
26	着工数	1,931	1,969	1,805	1,872	1,607	1,565	1,978	1,716	1,858	2,191	1,762	2,117	22,371
	木造数	1,523	1,407	1,308	1,145	1,220	1,256	1,282	1,218	1,307	1,362	1,297	1,306	15,631
	木造率	78.9%	71.5%	72.5%	61.2%	75.9%	80.3%	64.8%	71.0%	70.3%	62.2%	73.6%	61.7%	69.9%
	累計	1,931	3,900	5,705	7,577	9,184	10,749	12,727	14,443	16,301	18,492	20,254	22,371	
27	着工数	1,623	1,795	1,862										5,280
	木造数	1,127	1,151	1,098										3,376
	木造率	69.4%	64.1%	59.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	63.9%
	累計	1,623	3,418	5,280	5,280	5,280	5,280	5,280	5,280	5,280	5,280	5,280	5,280	

